



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月8日

上場会社名 武蔵精密工業株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7220 URL http://www.musashi.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大塚 浩史
 問合せ先責任者 (役職名) 連結管理部長 (氏名) 伊藤 真佐弥 TEL 0532-25-8111
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	174,310	39.2	10,097	54.2	10,479	80.6	6,428	70.0
29年3月期第3四半期	125,240	2.1	6,547	△32.7	5,802	△30.9	3,780	△39.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 12,343百万円 (-%) 29年3月期第3四半期 △4,114百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	205.98	188.28
29年3月期第3四半期	121.18	110.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	241,881	99,175	33.9	2,623.93
29年3月期	248,482	88,312	28.8	2,294.74

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 81,906百万円 29年3月期 71,582百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	26.00	—	26.00	52.00
30年3月期	—	27.00	—		
30年3月期(予想)				27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	235,000	30.2	14,800	32.5	14,500	40.5	9,200	45.7	294.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： 無 |
| ④ 修正再表示 | ： 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	31,221,100株	29年3月期	31,200,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	5,870株	29年3月期	5,752株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	31,207,273株	29年3月期3Q	31,194,424株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成29年4月1日～12月31日)における連結経営成績は、好調なアジア地域子会社の業績、昨年買収したHAYグループの業績貢献、そして為替の円安効果により、前年同期に比較して大幅に増収増益となりました。具体的には、連結売上高は174,310百万円(前年同期比39.2%増)、連結営業利益は10,097百万円(同54.2%増)、連結経常利益は10,479百万円(同80.6%増)、そして親会社株主に帰属する四半期純利益は6,428百万円(同70.0%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるトピックスとして、生産領域では、当社本社/植田工場における新工場建設は順調に進行しております。また、インドネシア拠点においては、HAYグループが強みとする超高速鍛造機を用いた二輪部品製造計画を進めています。当該製造計画を契機として、二輪部品の生産性の大幅な向上及び生産ラインの有効活用が可能になり、当社グループの二輪部品生産能力が一層強化される見込みです。

開発・生産技術領域では、平成29年10月に締結した豊橋技術科学大学との包括提携協定にもとづき、ものづくりへのAI活用など、生産技術の革新につながる先端的な産学連携研究を平成30年度より実施する予定です。AI技術の導入については、本年1月に専任部署「AIプロジェクト」を新設し、ディープラーニングを活用した部品外観検査の自動化に取り組んでいます。研究の成果は、本年4月に東京で開催される「AI EXPO」において発表する予定です。

営業領域では、デファレンシャルの新規受注に加え、中国及び欧州を中心としたHEV/EV向け部品の引き合いが伸長しています。当社が培ってきた一貫生産体制の強みを活かし、自動車業界のトレンドを見据えた需要の取り込みを進めてまいります。

セグメント別の状況は次のとおりです。

(日本)

売上高は20,794百万円(前年同期比7.0%増)と増収、利益面では、増収効果、及び前年同期に計上されたHAYグループ買収費用が当期は計上されない等の影響により、セグメント利益は1,028百万円(同44.9%増)となりました。

(北米)

売上高は32,115百万円(同2.3%増)となりました。一方、利益面では、第2四半期会計期間までを中心とした一時的な生産効率の低下により、セグメント利益は1,091百万円(同38.1%減)となりました。

(欧州)

HAYグループの業績加算、ならびに買収に伴う無形資産償却費用の減少により、売上高は56,466百万円(同3.1倍)、セグメント利益は514百万円(前年同期は486百万円の損失)となりました。

(アジア)

アジア地域各社の好調な業績により、売上高は58,903百万円(前年同期比16.1%増)、セグメント利益は7,071百万円(同47.1%増)となりました。

(南米)

市況改善による増収及び継続的な構造改革によるコスト改善により、売上高は6,030百万円(同10.5%増)、セグメント利益は45百万円(前年同期は431百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前期末に比べて6,601百万円減少し、241,881百万円となりました。

流動資産は、前期末に比べて4,946百万円減少し、95,718百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、前期末に比べて1,655百万円減少し、146,162百万円となりました。主な要因は、減価償却による有形固定資産の減少によるものであります。

負債は、前期末に比べて17,464百万円減少し、142,705百万円となりました。主な要因は、借入金の減少によるものであります。

非支配株主持分を含めた純資産は、前期末に比べて10,862百万円増加し、99,175百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成29年11月6日に公表いたしました予想を以下のとおり修正しました。なお、業績予想算定に用いた主な為替レートは、110円/US\$、130円/ユーロ、17.1円/人民元、3.4円/バーツです。

通期連結業績予想数値の修正（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	225,000	13,500	13,000	8,100	259.59
今回発表予想 (B)	235,000	14,800	14,500	9,200	294.80
増減額 (B-A)	10,000	1,300	1,500	1,100	—
増減率 (%)	4.4	9.6	11.5	13.6	—
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	180,522	11,166	10,323	6,315	202.47

(修正の理由)

当第3四半期連結累計期間の経営成績、及び最近の当社グループの業績動向を考慮の上で、連結業績予想を上方修正しました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,607	22,544
受取手形及び売掛金	27,374	29,805
商品及び製品	9,522	10,318
仕掛品	5,313	5,708
原材料及び貯蔵品	18,562	18,703
繰延税金資産	1,174	1,120
その他	8,152	7,561
貸倒引当金	△42	△46
流動資産合計	100,664	95,718
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	41,572	43,155
減価償却累計額	△17,939	△19,238
減損損失累計額	△943	△935
建物及び構築物(純額)	22,688	22,981
機械装置及び運搬具	200,075	209,203
減価償却累計額	△130,497	△141,550
減損損失累計額	△1,165	△1,159
機械装置及び運搬具(純額)	68,412	66,493
工具、器具及び備品	10,467	11,089
減価償却累計額	△6,706	△7,414
減損損失累計額	△51	△49
工具、器具及び備品(純額)	3,708	3,625
土地	6,300	6,759
建設仮勘定	7,005	5,776
有形固定資産合計	108,116	105,635
無形固定資産		
のれん	8,874	9,111
顧客関連資産	14,110	14,248
ソフトウェア	1,626	1,501
ソフトウェア仮勘定	155	161
その他	3,251	3,194
無形固定資産合計	28,017	28,216
投資その他の資産		
投資有価証券	5,744	6,528
出資金	73	86
長期貸付金	48	64
繰延税金資産	2,751	2,413
その他	3,117	3,269
貸倒引当金	△51	△51
投資その他の資産合計	11,683	12,310
固定資産合計	147,818	146,162
資産合計	248,482	241,881

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,127	17,063
短期借入金	28,589	10,247
1年内返済予定の長期借入金	9,390	2,205
1年内償還予定の社債	—	10,009
未払金	3,523	1,996
未払費用	5,509	6,107
未払法人税等	1,388	1,270
賞与引当金	1,825	1,474
役員賞与引当金	47	42
製品補償引当金	23	71
その他	4,561	4,939
流動負債合計	71,985	55,427
固定負債		
社債	10,016	—
長期借入金	64,663	73,729
繰延税金負債	6,631	6,971
退職給付に係る負債	5,037	5,218
その他	1,835	1,358
固定負債合計	88,184	87,278
負債合計	160,169	142,705
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,973	3,006
資本剰余金	1,952	1,985
利益剰余金	71,114	76,517
自己株式	△7	△8
株主資本合計	76,033	81,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,394	2,987
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	△6,467	△2,328
退職給付に係る調整累計額	△376	△252
その他の包括利益累計額合計	△4,450	406
非支配株主持分	16,730	17,268
純資産合計	88,312	99,175
負債純資産合計	248,482	241,881

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	125,240	174,310
売上原価	106,181	148,219
売上総利益	19,059	26,090
販売費及び一般管理費	12,511	15,993
営業利益	6,547	10,097
営業外収益		
受取利息	211	279
受取配当金	121	172
為替差益	—	298
助成金収入	284	179
その他	278	411
営業外収益合計	896	1,341
営業外費用		
支払利息	800	852
固定資産除却損	8	—
為替差損	650	—
その他	182	107
営業外費用合計	1,642	959
経常利益	5,802	10,479
特別利益		
固定資産売却益	51	32
特別利益合計	51	32
特別損失		
固定資産売却損	19	56
固定資産除却損	135	105
減損損失	6	—
特別損失合計	161	161
税金等調整前四半期純利益	5,691	10,349
法人税等	1,539	3,615
四半期純利益	4,151	6,734
非支配株主に帰属する四半期純利益	371	306
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,780	6,428

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	4,151	6,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	297	593
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	△8,652	4,867
退職給付に係る調整額	88	148
その他の包括利益合計	△8,266	5,609
四半期包括利益	△4,114	12,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,287	11,285
非支配株主に係る四半期包括利益	△826	1,058

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、決算日が12月31日であった連結子会社ピーティー・ムサシオートパーツインドネシア及びムサシハンガリーマニュファクチャリング・リミテッドは、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っていましたが、より適時適切な情報に基づき、財務情報としての有用性を高めるため、第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更しております。

これに伴い、当該連結子会社の平成29年1月1日から平成29年3月31日までの損益については、それぞれ利益剰余金の増減として調整しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用について、当社及び国内連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	アジア	南米	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高								
外部顧客への売上高	19,430	31,396	18,226	50,728	5,457	125,240	—	125,240
セグメント間の内部売 上高又は振替高	17,097	262	1	3,656	7	21,026	△21,026	—
計	36,528	31,659	18,227	54,385	5,464	146,266	△21,026	125,240
セグメント利益又は損 失(△)	709	1,761	△486	4,808	△431	6,362	185	6,547

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額185百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	北米	欧州	アジア	南米	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
売上高								
外部顧客への売上高	20,794	32,115	56,466	58,903	6,030	174,310	—	174,310
セグメント間の内部売 上高又は振替高	15,272	265	0	3,433	0	18,973	△18,973	—
計	36,067	32,380	56,467	62,337	6,031	193,284	△18,973	174,310
セグメント利益	1,028	1,091	514	7,071	45	9,751	346	10,097

(注) 1. セグメント利益の調整額346百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。